

運動会の価値を問い直す 子どもは運動会ですごく成長する。なのに・・・

1. 運動会の開催時期は、いつがいいのか？

- ・全国的にみると、多くの学校が、運動会を春に開催するようになってきた。運動会の価値を知らないから、平気で春開催に移行する学校が増えるのだ。春の理由は
 - ・行事の多い秋を避け、春に分散してバランスを取る
 - ・9月は残暑厳しく熱中症の危険がある
 - ・2学期制で、9月は成績の時期にあたり忙しい 等
- ・私が一番いい時期と考えているのは9月中ではなく、10月の第1週か第2週の土日。
(昔はみんなその頃だった。時期も意義もちゃんとわかっていたのだ、昔の人は偉い)

2. 運動会で子どもは育つ、クラスは育つ、そして教師も育つ

- ・運動会は行事の一つではあるが、大切な学習の機会でもある。
みんなの前で、速い遅い、勝ち負けが見える。だからこそ社会性や人間性が育つ。
教室では出来ないすばらしい価値のある体験。それは春より秋の方が育つ。
- ・運動会に参加するってどういうこと？ クーベルタン「参加することに意義がある」
参加する⇒英語で take part (役割をもつ、役割をしっかりと果たす)
- ・係の仕事は、教師の手伝いではない。役割を持たせて子どもに任せる。
- ・「運動会が嫌い」という子どもは、実は先生が作り出しているのだ。
- ・運動会の練習で子どもが落ち着いて勉強できないからサッサとすませたいという教師。

3. 粘り強い取り組みの過程、それが「価値」であり「ドラマ」になっていく

- ・粘り強く練習に取り組みせようとすると、文句も出るし、トラブルも起こる。
- ・てきとうにすませていけば、教師も子どもも楽。でもそれでいいのか。
- ・練習の時に一生懸命に教えた先生は、運動会当日も一生懸命になって燃えている。
- ・教師の姿勢で、必ず運動会は変わる、運動会は生きる。

4. 「ドラマ」が生まれ「感動」に出会い、そして「成長」する

- ・「がんばる力」と「成長」は比例し、「いい加減な過ごし方」と「成長」は反比例する。
- ・暑い中がんばったからこそ、みんなでけんかしたからこそ、放課後練習したからこそ
⇒そこに「ドラマ」が生まれ「感動」に出会えるのだ。その涙は美しい。
- ・そして「ドラマ」のあとは、子どもが変わる、親も変わる。そして学級が変わるのだ。

5. 「運動会」の「いいシーン」あれこれ

- ・入場行進 ・リレーの入場 ・組体操の入場 ・リズム演技(隊形・色分け・・・)
- ・組体操 ・忍者修行の道 ・負けていても全力疾走 ・リレーの感動
- ・係の仕事(ライン、ピストル、判定、歌、ライン、準備、司会・・・)

6. 一度は見てみたい奈良女子大学附属小学校の運動会(すべて子どもがする運動会)

つもった雪 金子みすず

上の雪 寒かろうな。 つめたい月がさしていて
 中の雪 重かろうな。 何百人ものせていて
 下の雪 さみしかろうな。 空も地べたもみえないで。

組体操が、何とか一通り出来るようになりました。

小屋敷先生「私は、小学校の時、体が小さくて、上に乗るばかりでこわかったなあ。それか
 らとなりのグループにも行かされたり・・・」

仲島先生「先生は、小学校の時、体が大きい方だったから、いつも下の土台ばかりだったです。
 足と背中が痛かったなあ・・・」

前田先生「私は、中くらいだったから、土台だったり、真ん中だったり、いろいろ行かされた
 なあ・・・」

と、3人の先生の小学校時代の思い出は三者三様でした。

みんなの組体操に取り組む様子を見ながら、みんなも3人の先生のどれかと同じなんだなと思
 っていました。それと同時に上の詩を思い出しました。2学期最初のWAKUWAKU6に
 のせたあの金子みすずさんの作品です。これは、つもった雪のことが書いてありますが、みん
 なの組体操とついダブってみえるのです。

組体操は、本当にたいへんですね。支える人、支えられる人、耐える人、ふんばる人、がま
 んする人・・・・一人ひとりが自分の役割をもって、そんなみんなが集まって、一つの太
 きな技を完成させていっているのです。6年生にふさわしい演技だなんて思っています。

あなたにありがとう

中山 真理

あなたがいたから がんばってこられたんだね

ひとりぼっちなら とうに くじけてた

あなたがいたから 元気でいられたんだね

いつも はげましてくれてたからだね

どんな時も 支えてもらったから

つらいこと いやなこと いつしか忘れてた

あなたにありがとう ありがとう ありがとう

いつまでも 大事な宝物 そばにいたこと

あなたがいたから 楽しくすごせたんだね

けんかをした日は 笑えなかったよ

あなたがいたから 優しくなれたんだよね

いじわるな気持ち 消えていったよね

どんな時も 支えてもらったから

つらいこと いやなこと いつしか忘れてた

あなたにありがとう ありがとう ありがとう

いつまでも 大事な宝物 そばにいたこと

そばにいたこと